

JAPAN HERITAGE
日本遺産



みちのく
GOLD
浪ろまん漫

黄金の国ジパング、
産金はじまの地をたどる

共催
後援

日本遺産「みちのくGOLD 浪漫」推進協議会（宮城県涌谷町・南三陸町・気仙沼市・石巻市・岩手県平泉町・陸前高田市）
東北放送、ミヤギテレビ、kbb東日本放送、仙台放送、NHK仙台放送局、河北新報社、三陸河北新報社（石巻かほく）、
石巻日日新聞社、ラジオ石巻FM76.4、一般社団法人石巻観光協会、一般社団法人石巻圏観光推進機構



石巻市
博物館
ISHINOMAKI
CITY MUSEUM

石巻市博物館 第一〇回企画展

みちのくの金と金華山

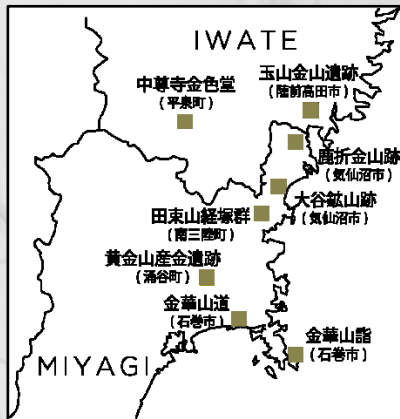
2025.1/25土 ▶ 3/23日

会場 石巻市博物館 企画展示室（宮城県石巻市開成二―八 問合せ：0225-984831）
観覧料 一般 600円 / 高校生 300円 / 小中学生 200円 ※20人以上の場合は2割引
開館時間 午前9時～午後5時（最終入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は開館し、翌火曜日は休館）

東東洋「金華山松嶋圖」（山形美術館蔵 丸谷長谷川コレクション 画像提供 同上）

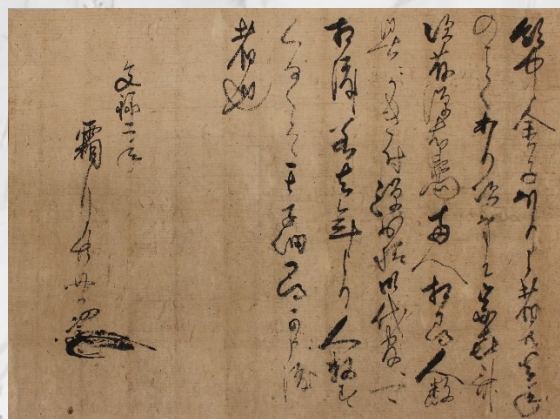
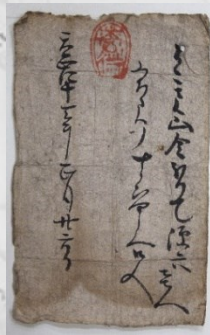




石巻の視点からひととく、日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」

日本遺産「みちのく GOLD 浪漫—黄金の国ジバング、産金はじまりの地をたどる—」は、時代とともに幾重にも結びつき、独自の文化や信仰、産業へと昇華した「金」を中心とするストーリーを打ち出しました。

本企画展では、日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」のストーリーや構成文化財を、石巻の視点からひととき、古代～現代に至る産金や金華山をめぐる信仰・文化を紹介します。「金」文化の土台となった「みちのくの風土や地質」を紹介し、日本最初の産金地である黄金山産金遺跡や、平泉藤原氏に関連する遺物、葛西領にみられる金装板碑などが示す「古代・中世のみちのく」と黄金文化、伊達政宗の時代に旧葛西領で進められた「仙台藩の金山経営」、近代の「みちのくのゴールドラッシュ」といった産金を主なテーマとして取り上げます。そして、もう一つのテーマが「金華山へと続く道」です。江戸時代以来、人びとの間で流行した金華山詣。当時の紀行文や絵画資料から、金華山をめぐる参詣や地域の様子をご覧ください。



産金と金華山



画像提供：宮城県文化財課



(左上から) 南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡出土金付着陶器片(紫波町教育委員会蔵)、無量光院跡出土金付着陶器片(平泉文化遺産センター蔵)、大龍出土金装板碑(一関市教育委員会蔵)、天正二十一年紙製御本判(一関市 個人蔵「及川家文書」)、文禄三年御本判(仙台市 梅津幸次郎コレクション)、伊達政宗文書(仙台市博物館蔵 齋藤報恩会寄贈資料)、吉田家文書(陸前高田市 個人蔵)、「奥州石ノ巻図」(石巻市 羽黒山鳥屋神社蔵)、「金華山図」(仙台市博物館蔵 伊達家寄贈文化財)

(その他主な展示資料) 黄金山産金遺跡出土遺物(涌谷町教育委員会)、柳之御所遺跡出土遺物(岩手県教育委員会蔵)、水沼窯跡出土遺物(石巻市教育委員会蔵)、田束山経塚出土三筋釜(南三陸町教育委員会蔵)、長塩谷板碑群(館蔵)、葛西晴信黒印状(仙台市博物館蔵、当館蔵)、「気仙本吉御絵図(複製)」(気仙沼市教育委員会蔵)、菅井梅閑筆「金華山図」(仙台市博物館蔵)、「金華山紀行」(仙台市民図書館蔵)、「奥州名所図会 巻之五」(仙台市民図書館蔵)、採金関係資料(涌谷町教育委員会蔵、南三陸町教育委員会蔵、鹿折金山資料館蔵、大谷鉾山資料館蔵、陸前高田市立博物館蔵)ほか

博物館講座「学芸員が語る“みちのくの金と金華山”」

日 時：令和7年3月1日(土)午後1時15分～午後4時

場 所：マルホンまさあーとテラス 小ホール

講 師：当館学芸員 泉田邦彦・伊藤匠・塚本杏奈

定 員：300人(申込不要、先着順)

ワークショップ「砂金採り体験」

日 時：令和7年3月1日(土)午後1時15分～午後4時

場 所：●●●●●●



〒986-0032 宮城県石巻市開成 1-8

車：三陸自動車道 石巻女川 IC より約 5 分